

第1学年 国語科学習指導案

1年C組 28名
指導者 長江 美咲

1 単元名 むかしばなしをしようかいしよう

『たぬきの糸車』『むかしばなしをよもう』（光村図書 1年下） ほか

2 指導にあたって

学習者は、『おおきなかぶ』や『くじらぐも』において、登場人物になりきって動作化をしたり、お話を声に出して読むことを楽しんだりしてきた。初めは、既知の知識や挿絵だけを頼りに空想を広げていた学習者も、物語を読む学習を積み重ねることで、本文中の言葉からも場面の様子や登場人物の行動を想像することができるようになってきた。そこで、本単元では一つの物語を場面のまとまりに分けて読み進めていく中で、言葉や表現に着目し、より具体的に場面の様子を捉えたり、叙述に基づいて登場人物の行動や気持ちについての想像を膨らませたりすることができるようにしたい。

本単元で扱う『たぬきの糸車』は、伊豆地方で生まれ、語り継がれてきた民話である。いたずら者だが憎めないたぬきと人のよいおかみさんとの交流が、リズムカルな言葉を使ってユーモラスに描かれており、思わず登場人物の真似をしたくなる物語である。「あるばん」「ふゆがやってきました」などの叙述から時間や季節が捉えやすく物語の展開が明解であることから、場面のまとまりを捉えるのにも適した教材である。また、本文には書かれていない登場人物の行動理由や内言などを想像し、登場人物の多様な側面や感情を読み深めていくと、様々な出来事の中で二人の心が通い合う温かさにあふれた物語であると気付くことができる。そして、物語のどの場面も印象深く学習者の心に残る教材であると考えられる。

本単元における学習者の活動目標は、昔話の好きな場面を劇で友達に紹介することである。第一次では、様々な昔話の読み聞かせや指導者が好きな昔話の紹介を聞く活動を通して、本単元の活動に興味をもって意欲的に取り組めるようにする。また、学習計画を立てて活動のゴールが見通せるようにしたり、振り返りカードを活用して毎時間の学びが学習のゴールへとつながっていることを意識できるようにしたりする。それによって個別最適な学びを促し、自分の学習の状況を把握しながら学習活動が進められるようにする。第二次では、『たぬきの糸車』を用いて、物語の読み方と紹介の例を学ぶ。登場人物の行動や気持ちを読み取れる言葉を「そうぞうのたね」として集め、それを基に場面の様子や登場人物についての対話的な活動を行うことで、叙述を基に場面を想像しながら読むことの楽しさを感じられるようにする。また、想像したことを劇として全体で共有し、協働的に学ぶことで、友達との見方や感じ方の共通点や違いに気付いたり、想像の幅を広げて物語に浸ったりすることができるようにする。第三次では、並行読書をしてきた昔話の中から好きなお話を選び、劇で紹介する活動を行う。劇にするお話や場面を自分で選ぶことで、一人一人が『たぬきの糸車』で学習したことを生かして、自律的に学習活動に取り組むことができるようにしたい。

3 単元の目標

- (1) 活動目標 むかしばなしをしようかいしよう
- (2) 指導目標と単元の評価規準

指導目標	評価規準	評価の観点
○語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読することができるようにする。	○語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。	知識・技能 (1)ク
○場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができるようにする。	○「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。	思考・判断・表現 C(1)イ
○場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができるようにする。	○「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。	思考・判断・表現 C(1)エ
○言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を育てる。	○進んで、登場人物の行動を捉え、これまでの学習を生かして劇をしようとしている。	主体的に学習に取り組む態度

4 単元の構想と評価計画

学習活動と学習者の意識（全9時間）	主な指導・支援	評価規準
<p>事前 学級で昔話を読む。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">『わらしべ長者』で、わらがどんどん立派な物になっていくところがおもしろかった。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">わたしは、『うさぎとかめ』のお話が大好き。動物は他にもあるのかな。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">昔話はたくさんあるからいろいろ読んでみたい。みんなのお話は何かな。</div> </div>	<p>○昔話を学級で読み聞かせたり、文庫に集めたいという意図を高めることができるようにする。</p>	
<p>第一次 学習の計画を立てる。・・・・・・・・・・・・・・・・・・1時間</p>		
<p>①『たぬきの糸車』を音読し、劇をする計画を立てる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">たぬきが糸車をまわすまわすところが好き。わたしもまねをしたいな。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">おかみさんがとても優しいな。どうしてたぬきを逃がしたのかな。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">「ぴよんぴよんおどんな様子がな。みんなでやってみようよ。」</div> </div>	<p>○挿絵を活用して、物語の場面をイメージできるようにする。</p>	<p>○場面のまとまりや登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。（発言）</p>
<p>第二次 『たぬきの糸車』を読み、劇をする。・・・・・・・・・・5時間 （本時4/5）</p>		
<p>①第一場面のたぬきやおかみさんの様子を想像して、劇をする。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">たぬきは山奥に一人ですみかかったから、いたずらをしてしまったんじゃないかな。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">「おいしい食べ物があるぞ。お腹が空いたからもらってこよう。」と言っているよ。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">毎晩のようにいられたら困るから、怖がって掛けたのかな。</div> </div>	<p>○挿絵から読み取った様子や、場面をイメージできるようにする。</p>	<p>○叙述を基に、いたずらをするたぬきや、それを困らせる夫婦の気持ちを想像している。（ワークシート・劇）</p>
<p>②第二場面のたぬきやおかみさんの様子を想像して、劇をする。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">毎晩来るぐらい楽しいんだね。「ぼくもまわしてみたい。」と思っているのかもしれない。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">「目をくるくるまわしているのがかわいいな。」と思いついて糸車をまわしているよ。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">いたずらは困るけど、まねをしてくれるのはかわいから、優しく見守ってあげたいな。</div> </div>	<p>○「そうぞうのたね」の登場人物の言葉や行動から、イメージできるようにする。</p>	<p>○叙述を基に、糸車をまわすたぬきや、それを見守るおかみさんの気持ちを想像している。（ワークシート・劇）</p>
<p>③第三場面のたぬきやおかみさんの様子を想像して、劇をする。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">たぬきは、「助かったあ。逃がしてくれてありがとう。」という気持ちだと思ふな。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">たぬきのことがだんだんかわいく思えてきたから、逃がしてあげたのかもしれない。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">助けてもらった後、たぬきはおかみさんにお礼がしたいと思ったかもしれない。</div> </div>	<p>○前時までの学習を振り返り、登場人物の気持ちの変化に気づけるようにする。</p>	<p>○叙述を基に、畏にかかったたぬきと、逃がしてやるおかみさんの気持ちを想像している。（ワークシート・劇）</p>
<p>④第四場面と第五場面のたぬきやおかみさんの様子を想像して、劇をする。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">たぬきは、毎晩見ているおかみさんの動きを冬の間糸を紡いだのかな。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">自分のまねをして糸を紡ぐたぬきの姿を見て、おかみさんは嬉しかったと思うよ。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">「ぴよんぴよん」から、おかみさんに気付いてもらえて嬉しかった様子が想像できるね。</div> </div>	<p>○劇として叙述を動作化したり、登場人物の行動や気持ちを具体的に想像できるようにする。</p>	<p>○叙述を基に、うれしそうに帰って行くたぬきと見送るおかみさんの気持ちを想像している。（ワークシート・劇）</p>
<p>⑤好きな場面を選んで、劇をする。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">たぬきが嬉しそうに帰る場面が好きだな。気持ちが伝わるように言おう。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">たぬきを逃がす時、おかみさんはとても心配そうだったと思うよ。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">糸車はゆっくり丁寧にまわしていくと思う。たぬきもゆっくり手や目がまわるだろう。</div> </div>	<p>○想像した台詞を全体で共有し、友達と共通のイメージを共有できるようにする。</p>	<p>○積極的にこれまでの学習を生かして、好きな場面を劇で伝えようとしている。（ワークシート・劇）</p>
<p>第三次 選んだ昔話の好きな場面の劇をする。・・・・・・・・・・3時間</p>		
<p>①自分が選んだ昔話の紹介したい場面を決め、劇の練習をする。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">『ぶんぶく茶釜』にもたぬきが出てくるよ。どんなことをするのか読んでみよう。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">『浦島太郎』が好きだから、みんなにも読んでほしいな。どの場面を紹介しようかな。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">『鶴の恩返し』の鶴はどんな気持ちで機を織ったのかな。鶴になって考えてみよう。</div> </div>	<p>○学習活動に適した昔話を精選する。</p>	<p>○叙述を基に、場面の様子や登場人物の気持ちを想像している。（ワークシート・発言）</p>
<p>②③好きな昔話を劇で紹介し合い、振り返りカードを書く。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">紹介を聞いて『ぶんぶく茶釜』が読んでみたくなったよ。読んだ感想も伝えたいな。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">同じ昔話を選んだけど、好きな場面や想像した台詞が違って面白いな。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">他の昔話ももっともっとうろろろと想像しながら読むと楽しそう。やってみよう。</div> </div>	<p>○振り返りカードを書くことで、学習したことを自覚し、今後の学習意欲を高めることができるようにする。</p>	<p>○積極的に登場人物の行動を捉え、これまでの学習を生かして、選んだ昔話の好きな場面を劇で伝えようとしている。（ワークシート・劇）</p>

5 本時の学習

(1) 本時の指導について

学習者はこれまでの学習で、場面ごとに挿絵から様子を読み取り、それらが本文中にどのような言葉で表現されているのかを考えた。そして、その叙述を「そうぞうのたね」として、場面の様子や登場人物について読み取り、想像を膨らませる活動を繰り返してきた。本時では、第四場面と第五場面のたぬきとおかみさんの行動や気持ちについて叙述を基に場面を想像し、劇をする活動を行う。特に、第五場面は物語の結末の部分に当たるので、これまでの場面とのつながりや次第に近づいていった二人の心の交流も意識しながら、『たぬきの糸車』の物語全体を読み深めることができるようにしたい。

(2) 目標

① 活動目標

「そうぞうのたね」から、たぬきとおかみさんの様子を想像して、劇をしよう。

② 指導目標

場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えたことを基に、登場人物の行動や気持ちを具体的に想像することができるようにする。

(3) 展開

学習活動	主な指導・支援	具体的評価規準
<p>1 本時の学習のめあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「そうぞうのたね」から、たぬきとおかみさんの様子を想像して、劇をしよう。</p> </div> <p>2 第四場面と第五場面から、たぬきとおかみさんの様子が表れている言葉を見付け、具体的な行動や気持ちについて話し合う。</p> <p>3 第五場面のたぬきとおかみさんの気持ちを想像し、劇をする。</p> <p>4 本時の学習を振り返り、次時の学習活動への見通しをもつ。</p>	<p>1 前時の振り返りをし、本時に学習することを確認する。 ○前時までのたぬきとおかみさんの行動や二人の関係性について想起させることで、本時の場面の展開について見通しをもって取り組めるようにする。</p> <p>2 言葉や表現に着目して場面の様子や登場人物の行動を捉えられるようにする。 ○挿絵と叙述を結びつけ、その言葉や表現に線を引くことで、「そうぞうのたね」を見付けやすくする。そして、叙述から場面の様子や登場人物の行動を捉え、想像することができるようにする。 ○前時までの場面にも触れることで、場面のつながりを感じられるようにする。</p> <p>3 劇をすることで、登場人物の行動や気持ちをより具体的に想像することができるようにする。 ○劇のモデルを示すことで、劇の流れや動作のイメージを掴んでからペア活動に取り組むことができるようにする。 ○劇にして全体で共有し、感想を伝え合うことで、自分と友達との見方や感じ方の共通点や違いに気付いたり、想像の幅を広げたりすることができるようにする。</p> <p>4 振り返りカードを書くことで、本時で学んだことを明確にする。 ○本時の振り返りをした後、本時まで学習してきた全ての場面も振り返ることで、次時に自分が好きな場面を自信をもって選ぶことができるように声掛けをする。</p>	<p>叙述を基に、うれしそうに帰って行くたぬきと見送るおかみさんの気持ちを想像している。 (ワークシート・劇)</p>

(4) 本時の評価

「十分満足できる」と判断される状況	叙述や言葉に着目してたぬきとおかみさんの行動や気持ちを想像しながら、意欲的に劇をすることができている。
「おおむね満足できる」状況を実現するための手立て	登場人物の行動を動作化することで、行動や行動理由を具体的に想像できるようにする。 「そうぞうのたね」として見付けた、言葉や表現を手がかりとして想像することができるよう、個別に助言する。